

社協だより

～鳴瀬小学校福祉学習発表会～



お世話になった『手話サークルたんぽぽ』さんへ
感謝のお花とお手紙をプレゼント

一年かけて学んだ内容をお世話になった方の目の前で発表しました。

1年間の学習プログラム

- ①福祉講話
- ②盲導犬学習
- ③高齢者交流
(一人暮らし高齢者のつどいに参加)
- ④手話サークルと交流
- ⑤視覚障害学習
- ⑥車イス、高齢者、手話学習



学んだことを『かるた』で表現



クイズに答えてすすむ『福祉すごろく』

会長挨拶



加美町社会福祉協議会
会長 佐藤 敬

町民の皆様には、日頃より加美町社会福祉協議会の事業推進に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび早坂前会長のご勇退に伴い、令和8年4月1日の理事会におきまして、理事の皆様のご推薦をいただき、加美町社会福祉協議会会長に就任することになりました。

これまで本会事務局長として事業運営に携わってまいりましたが、地域福祉の推進という大切な使命を担う社会福祉協議会の会長という責務に、改めて身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではありますが、地域福祉の推進と加美町社会福祉協議会の発展に向け、より一層の努力をしてまいります。

本会の基本目標の「みんなで支えあう地域の輪、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向け、町民の皆様並びに関係機関の皆様と連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

誰もが安心して暮らせる、福祉のまちづくりをめざして

令和8年度の加美町社会福祉協議会の事業計画と資金収支予算が、3月17日の令和7年度第5回理事会、3月26日の第4回評議員会で承認されました。今回はその主な内容を紹介します。

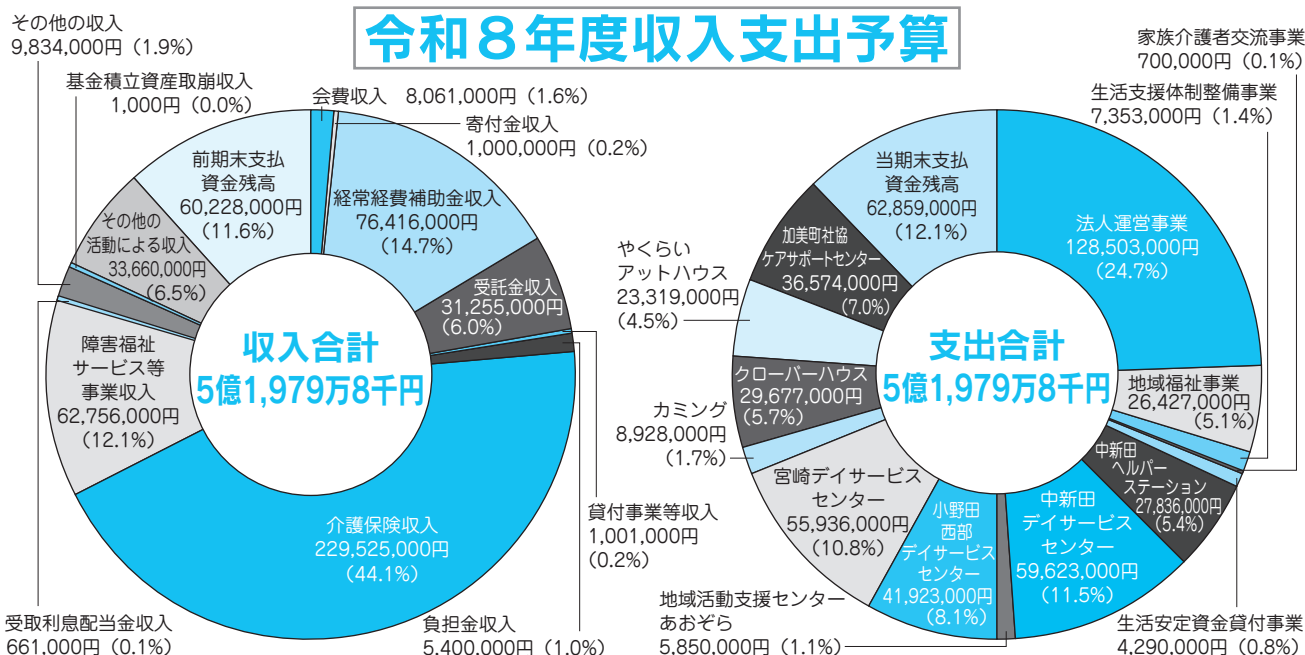
【基本方針】

令和5年3月に策定した本会の第3次地域福祉活動計画（おらほのプラン3）に基づき、地域住民や当事者団体、ボランティア、行政、関係機関等と協働しながら、地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

地域福祉事業では、旧町域ごとに生活支援コーディネーターを配置して、地域における「支え合い・助け合い」のさらなる推進を図るとともに、大規模災害が発生した場合に備え、災害ボランティアセンターの体制整備等に努めてまいります。

介護保険・障害福祉サービス事業では、サービス向上に努めながら、事業所の運営形態やあり方等を検討し、さらなる経営改善を図ってまいります。

令和8年度収入支出予算



「福祉について学び 得たもの」

鳴瀬小学校 教諭 後藤 久美



昨年度、本校の4年生14名は、社会福祉協議会のご協力をいただきながら「福祉」の学習を行いました。「福祉」について学ぶ前、子供たちは「障害を持った人はかわいそう」「お年寄りは大変」という、どちらかと言えばマイナスのイメージを持っていたと思います。担任として、プラスの部分にも気付かせたい、そのためにどんなことができるのかを社協の方に相談させていただきました。そして、「障害者福祉」と「高齢者福祉」について学習を進めていくことになりました。子供たちは、車椅子や白杖体験等で障害のある方の気持ちを知り、高齢者の集いへの参加を通して、日々の生活の楽しさや自分たちに対する優しさに気付くことができました。その気付きと思いは、その後の継続した交流に繋がっていききました。聴覚に障害のある厚原さんや手話サークルのみなさん、視覚に障害のある西塚さんと盲導犬ファボ君との交流、高齢者疑似体験やデイサービス訪問等、多くの活動を行うことができました。単発の学習で終わるのではなく、子供たち一人ひとりの、「もっと知りたい」「交流したい」という思いを受け止め、交流や体験活動を選択させたことで、より主体的に学ぶ子供たちの姿を見ることができました。学習発表会に、交流したおばあさんに来てもらえたこと、年末に一人暮らし高齢者に配布するふれあいあったか弁当に添えたメッセージにお礼のはがきが届いたことも、子供たちにとって大きな喜びでした。学習のまとめとして子供たちから出された5つの案は、新聞や絵本、かるた、すごろく、劇でした。

一人ひとりがこの中から選び、まとめの活動に取り組みました。下級生やお世話になった方に学んだことを伝えたいという思いを持って一生懸命取り組み完成させました。ありがたいことに、手話サークルのみなさん、社協の方、3年生に発表することができたことは、本当にうれしいことでした。劇や新聞、絵本の発表を真剣に聞いてくださったこと、すごろくやかるたで盛り上がり、笑顔と笑い声で教室がいっぱいになったことは忘れられません。最後に「福祉」の授業を振り返り、全員が感想を伝えました。その中には「かわいそう」という言葉はありませんでした。「楽しんでいることが分かった」「自分たちにできることをしたい」「やさしい加美町にしたい」という感想を聞き、学び続けてきたことが実を結んだと感じました。最初の講話で社協の方が「福祉はみんなのしあわせ」と教えてくださったことが、14人の心にしっかりと刻まれました。学んだことがこれからの学校生活の様々な場面で花を咲かせ、たくさんのしあわせに繋がっていくことを願っています。社協のみなさん、何度も相談に乗っていただき、ご協力いただいたことに心より感謝申し上げます。子供たちのために本当にありがとうございました。



▲西塚さんからお聞きした普段の様子を劇で再現



▲1回目の授業。「福祉」ってなんだろう？

こども食堂立ち上げ等支援事業

加美町社会福祉協議会では、加美町から『こども食堂立ち上げ等支援事業補助金』を受け、これから『こども食堂』を始めたい方、または現在『こども食堂』を運営していて、今後も継続的に実施する方に対して『こども食堂立ち上げ等支援事業』として助成金を交付いたします。



詳細、様式のダウンロードにつきましては、ホームページをご覧ください。

社協ホームページ

項目	助成金上限額	必要開催回数	必要開催回数
こども食堂立ち上げ支援	50,000円	年3回以上	こども食堂を新たに始めたい方
こども食堂継続支援	100,000円	年6回以上	過去1年間にこども食堂の実績がある方

地域の活動を応援します!

ボランティア団体活動助成事業

町内で活動するボランティア団体やグループを対象に、社会福祉協議会では助成金を交付しています。要件は下記のとおりです。

- 【対象団体】 NPO法人やボランティア団体等の営利を目的としない団体
- 【助成対象】 高齢者、障害者、児童等を対象とした福祉事業
- 【助成金額】 1団体30,000円

生活相談所開設

日常生活の困りごと等について、お気軽にご相談ください。相談を希望される方は、開設日に直接会場へお越しください。(予約不要)

下記日程以外にも随時相談を受け付けております。

- ★日時：6月18日(木)
午前10時～正午
- ★場所：中新田公民館・相談室



金婚を祝う会

～自主申告をお願いします～

令和8年度金婚を祝う会を下記により開催いたします。対象と思われる方は戸籍確認が必要となりますので、各地区社協窓口にて自主申告をお願いいたします。

- 【対象者】 昭和51年1月1日から同年12月31日までに婚姻届出(入籍)されたご夫婦
- 【申込受付期間】 5月1日(金)～8月31日(月)
- 【開催日】 11月20日(金)

温かい善意ありがとうございます (令和8年1月1日～3月31日)

寄付金

- ★ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 様
…………… 500,000円 (地域福祉事業へ指定寄付)
一人暮らし高齢者のつどい、スタッフ用ポロシャツの購入に活用させていただきました。
- ★(株)エフワーク 代表取締役 畑山 春夫 様
…………… 200,000円

物品寄付

- ★佐々木 早苗 様 …………… タオル
 - ★小松 晃 様 (門沢) …………… リハビリパンツ
 - ★一般社団法人フードバンクいしのまき 様
…………… 菓子(ラスク、チョコ類)、カップ麺、他
- ※なお、上記以外にも使用済み切手やプルタブを多数頂戴しました。ご協力ありがとうございます。今年度も引き続き募集しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。
- 使用済み切手 … 6件、プルタブ … 8件

発行：社会福祉法人 **加美町社会福祉協議会** 宮城県加美郡加美町字町裏320番地
電話：0229 (63) 2547 FAX：0229 (63) 2898 URL：https://kami-syakyo.jp

小野田福祉サービスセンター 加美町字中原南112番地 電話：0229(67)7177
宮崎福祉サービスセンター 加美町宮崎字屋敷七番45番地1 電話：0229(68)2105